

静岡の学校や地域における対話の場づくりの方法を考える

ー 学生がみつけた哲学対話の魅力と課題を通してー

日時: 12月19日(金) 18:00~20:00

場所: 静岡大成中学・高等学校(最寄り: 静岡駅)

住所: 静岡市葵区鷹匠2丁目4-18

◆シンポジウム趣旨◆

一人ひとりの多様な価値観を尊重しながら、他者とともによりよい社会を実現するための一つの方法として、対話への期待が高まっている。その一方で、対話の場は自然に発生するものではない。

では、**どのようにして学校や地域における対話の場づくりを行うことができるのだろうか？**

本シンポジウムでは、学校や地域における対話の場づくりの方法として「**哲学対話**」に着目する。哲学対話とは、身近で素朴な問いについて考え、対話を通して探究する活動である。本シンポジウムでは、実践対象地域を静岡とし、静岡の学校や地域における哲学対話実践に参画した学生のふりかえりをもとに、その魅力と課題を検討していく。**学生の話題提供**を踏まえ、参加者とともに問いを見出し、哲学対話を実践する「対話型シンポジウム」を実施する。この対話型シンポジウムを通して、静岡における対話の場づくりに関心をもつ者同士が新たに出会い、ネットワークが築かれることを期待する。

◆対話型シンポジウムの構成◆

第1部 学校や地域における哲学対話の魅力と課題を知ろう

静岡県の学校や地域における哲学対話に参加した学生による魅力と課題を共有します。

第2部 哲学対話で「対話の場づくり」を考えよう

ファシリテーター：得居千照

話題提供をもとに問いを立て、みんなで考えます。

※哲学対話の方法についても丁寧に説明するので、

初心者の方も安心してご参加いただけます。

ゆる対話も
同時開催！



学校や地域における対話の場づくり、哲学対話に興味がある人におすすめです！

↓参加申し込みはこちら↓
当日までお申し込みいただけます



企画: 得居千照(静岡福祉大学)
博士(教育学)/いろいろな学校や
地域で哲学対話を実践、研究中



お問い合わせ先: 静岡福祉大学事務部企画戦略課 (054-631-5200/kikaku@suw.ac.jp)

主催: 静岡福祉大学 (住所: 焼津市本中根 549-1)

藤枝市地域政策研究・創造事業「藤枝の地域資源を生かした体験と対話の場づくり」

地域課題解決事業「焼津の地域資源を生かした体験と対話の場づくり」、JSPS 科研 (24K22778) 代表: 得居千照

共催: コンピテンス基盤型教育研究所 (静岡大学プロジェクト研究所)